

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2021年

氏名	河合 幹雄	担当科目	法社会学
学 位			
1986年3月	法学修士		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1978年3月	県立奈良高等学校卒業		
1978年4月	京都大学理学部入学		
1982年3月	京都大学理学部生物系卒業（学士号）		
1982年4月	京都大学文学部社会学聴講生、社会学を学ぶ（～1984年3月）		
1984年4月	京都大学大学院法学研究科修士課程入学		
1986年3月	京都大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）		
1986年4月	京都大学大学院法学研究科法社会学専攻博士後期課程入学		
1991年3月	京都大学大学院法学研究科法社会学専攻博士後期課程満期退学		
1992年10月	パリ第10大学法学博士論文準備生（～1999年9月）		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
1988年1月	CNRS（フランス国立科学研究所）IRJC（比較法研究所）助手（～1988年9月）		
1991年4月	京都大学法学部助手（～1993年3月）		
1993年4月	桐蔭学園横浜大学法学部専任講師（～1997年3月）		
1997年4月	桐蔭横浜大学法学部専任講師（法社会学担当）（～1998年3月）		
1997年4月	一橋大学法学部非常勤講師（法社会学担当）（～現在）		
1998年4月	桐蔭横浜大学法学部助教授（～2004年3月）		
2004年4月	桐蔭横浜大学法学部教授（法社会学担当）		
2004年4月	一橋大学法科大学院非常勤講師（法社会学担当）（～現在）		
2006年4月	警察大学校特別捜査幹部研修所嘱託教員（～2014年）		
2012年4月	早稲田大学法学部兼任講師（犯罪学Ⅰ、犯罪学Ⅱ担当）（～現在）		
2012年4月	桐蔭横浜大学法学部長（～2016年3月）		
2016年4月	桐蔭横浜大学副学長・同年6月～学校法人桐蔭学園理事（～現在）		
	ほか日本法社会学会理事、日本被害者学会理事、日本犯罪社会学会理事 AV人権倫理機構理事 全国篤志面接委員連盟評議員、公益財団法人矯正協会評議員、 河合隼雄財団評議員、等歴任		
	日本法社会学会、日本犯罪社会学会、日本被害者学会、日本刑法学会、日本法哲学会、所属		

最近5年間の主な業績等

年 月	事 項
2016年5月20日	「犯罪現象・犯罪統計」323～339頁 『ビギナーズ犯罪学』守山正・小林寿一編 成文堂
2017年12月	『法学セミナー 2018年1月号 通巻 756号』日本評論社「司法取引導入と司法の文化 —現場の実態は変わるのか」52～56頁
2017年12月28日、 29日	『現代ビジネス』WEB、講談社、「“AV出演強要”何が問題だったのか？有識者委員会メンバーが明かす —(上)女優たちが本当に望んでいたこと (下)なんと総ギャラの2%という事」
2017年12月15日	「調査研究対象との接近と適切な距離—最良の方法とは最高の結果が得られる方法」3～23頁 『法と社会研究 第3号』太田勝造、佐藤岩夫編 信山社
2017年12月26日	「“安全神話”の崩壊と法令遵守の厳格化」54～57頁 『激動の平成史』洋泉社
2019年3月20日	「社会学からみた病理」265～273頁 『ストーキングの現状と対策』守山正編 成文堂
2019年12月	『もしも刑務所に入ったら - 「日本一刑務所に入った男」による禁断解説』 ワニブックス PLUS 新書 ワニブックス 2
2019年12月	「平成30年間の刑事政策と社会変化 『令和元年版犯罪白書』を読む」16～25頁 『罪と罰』 第57巻1号
(参考：外部リンク) プロフィールURL	
	http://toin.ac.jp/univ/faculty/professor/%E6%B2%B3%E5%90%88%E3%80%80%E5%B9%B9%E9%9B%84%E3%80%80kawai-mikio/